

青森・むつ湾産のほたて情報発信基地

「ほたて広場開業一周年記念式典・イベント」

(平内町土屋地区)



青森ほたての
魅力をお客様へ

「ほたて広場」が青森ほたての販売、
宣伝の拠点として、平成十七年四月
十六日にオープンしてから、一年が
経過した。

開業一周年を記念し、「ほたて広場
運営協議会」(会長、植村正治 JF 青
森県漁連会長) 主催により、平成十
八年四月十五日・十六日に「ほたて
広場ステージオープン記念式典・イ
ベント」が開催された。

テープカット終了後、ステージイ



挨拶を述べる植村会長



式典風景

あおり漁連

ベントの「こけら落とし」として、人気キャラクター「仮面ライダーカブト」ショーが行われた。

一階イベントコーナーでは、ほたて汁無料配布、抽選会、ほたて料理の軽食など数多くのコーナーを設け、また、二階の特設コーナーにおいては、深浦町出身の第六十三代横綱旭富士の化粧まわしを東京相撲博物館よりお借りして期間限定で展示し、その他青森県ほたて流通振興協会の歴代ポスター十点を展示する等イベントを盛り上げていた。

期間中、天候には恵まれなかったものの、二日間で約五千人数が県内外から訪ずれ、にぎわいを見せた。

今後も多種企画やイベントを通じて集客を伸張し、青森県内で水揚げされる「ほたて」を中心に魚介類や地元農産物、加工品等を県内外にアピールする情報発信基地として役割を果たしていく。



店内風景



第六十三代横綱旭富士の化粧まわし



ほたてつかみ取り風景



仮面ライダーカブトショー

第47回青森県漁村青壮年女性 団体活動実績発表大会開催

去る1月12日、青森市の県民福祉プラザにおいて「第47回青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会」が県内漁業者関係者らの出席のもと、開催された。

同大会は、県内漁村青壮年女性団体の代表者が一堂に会し、活動実績の発表を通して知識の交換と活動意欲の向上を図り、沿岸漁業の振興及び漁村生活改善に寄与することを目的に開催され、本年度は6団体が資源管理や活動の成果について発表した。

審査結果は次のとおり。



大会発表者記念写真

審査結果	発 表 課 題	発表者所属及び氏名
優秀賞	空ウニを活用しコンブを増やす ～一石二鳥の技術開発への挑戦～	尻屋漁業研究会 養殖部長 南谷 直樹
優良賞	青森市漁業研究リーダー会の活動実績 ～行政との関わりについて～	青森市漁業研究リーダー会 副 会 長 西谷 文昭
優良賞	豊かな自然・小川原湖の恵みを活かす ～シジミ・シラウオを知るチャレンジ精神～	小川原湖漁業協同組合青年部 支 部 長 沼辺 正孝
優良賞	地産資源に付加価値を ～活魚販売を支えて～	白糠漁業研究会 会 長 伊勢田啓二
優良賞	十三湖シジミの安定生産を目指して ～生産部会活動はじめての一步～	車力しじみ生産部会 会 長 尾野 明彦
優秀賞	多彩なホッキガイ料理で魚食普及を促進 ～地元でもりもり食べるために～	三沢市漁業協同組合 小型船部会女性部 部 長 富田 玲子

第11回全国青年・女性漁業者交流大会開催

去る三月八日～九日の二日間、東京都虎ノ門パストラルにおいて「第十一回全国青年・女性漁業者交流大会」が開催された。大会は日頃の研究・実践活動の成果を発表するとともに、広く相互の知識や研究成果の情報交換と人的交流を深めることによつて、水産業、漁村の発展、活性化のための技術・知識などを研鑽することを目的として開催された。

大会は、全国から五十一グループが参加し、五部門に分かれて発表が行われた。本県からは、第四十七回青森県青壮年女性団体活動実績発表大会で優秀賞を受賞した尻屋漁業研究会の南谷直樹養殖部長が水産庁長官賞、三沢市漁協小型船部会女性部の富田玲子部長さんが全漁連会長賞を受賞しました。



発表する南谷部長

第17回青森県水産賞表彰式

去る一月十二日の第四十七回青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会において、「第十七回青森県水産賞」の表彰式が行われた。

社団法人青森

県水産振興会

植村正治会長よ

り、水産に関す

る試験研究、発

明発見、普及指

導その他本県水

産業の発展に顕

著な業績をあげ

た個人及び団体

に対し、水産賞

が授与された。

表彰について

は次の3名であ

る。

受賞者



後藤 亮 丞

(昭和14年9月15日生)

青森県青森市

〔業績の概要〕

平内町の生まれ漁業に従事しながら学業を修めた後、昭和三十七年四月から三十四年間、青森県漁業協同組合連合会の職員として勤務。主として業務部門に精通し、積極的に「浜廻り」をして漁業者や漁協職員の声を取り上げ本県漁業協同組合事業の発展に尽力した。

また、平成八年六月からは専務理事として、三期九年間にわたり会員組合の経営安定と漁村の活性化に努めた。



飯田 カオル

(昭和12年4月5日生)

青森県東津軽郡平内町

〔業績の概要〕

昭和五十一年一月より平内町漁協女性部理事として、また、同小湊支部長として女性の立場から地域の活性化と環境美化に積極的に取り組んでいる。特に平成八年度から実施している植樹事業を女性部の主要活動と位置づけ、むつ湾の自然環境保護に努めている。

また、ほたて養殖漁業従事者の立場から、県産ほたての消費拡大・宣伝普及の推進に尽力した。



村上 健作

(昭和16年11月12日生)

青森県西津軽郡深浦町

〔業績の概要〕

昭和五十年四月に斉藤光明氏と共に「深浦漁業研究会」を設立し、わかめ養殖事業、海面アワビ養殖事業、藻場造成試験等に積極的に取り組んできた。また、昭和五十八年三月には現在の一級網による漁業資格を取得し、定置網の漁具改良に取り組みながら、その技術を熱心に若者へ指導することで漁業後継者育成にも努めている。

「外ヶ浜漁業協同組合設立祝賀会」開催

旧蟹田町漁協と旧平館村漁協が平成十八年一月一日に合併し、新たに「外ヶ浜漁協」が誕生したことにより、去る一月十四日、外ヶ浜町・ダイヤモンドホールKIDDOにおいて、来賓及び漁協関係者ら約百名の出席のもと『外ヶ浜漁業協同組合設立祝賀会』が開催された。

祝賀会では、主催者を代表して前田廣臣組合長が「漁業環境の悪化等により、漁協経営は大変厳しい状況にあるが、合併によって経営基盤を強化し、組合員の負託に応えることの出来る漁協にしたい。」と挨拶を述べ、来賓からは植村正治県漁連会長、奈良岡修一県農林水産振興企画監がそれぞれ祝辞を述べた。乾杯は神山久志県議会議員が音頭をとり、その後、歌謡ショーなどが行われ、盛会のうちに終了した。



挨拶を述べる前田組合長



祝辞を述べる植村県漁連会長

本県における認定漁協の状況

認定漁協は全国で166漁協（平成18年3月31日現在）が認定されており、本県では、昨年12月末時点で平内町、八戸みなと、外ヶ浜の3漁協が認定漁協となっており、年明け1月、2月には新たに8地区の漁協が事前認定漁協として認定された。

漁 協 名	認 定 状 況
平内町漁協	平成16年10月 認定
八戸みなと漁協	平成17年 5月 認定
外ヶ浜漁協	平成17年12月 認定
大間越、岩崎村、舩作、風合瀬、大戸瀬、赤石水産、鯔ヶ沢漁協	平成18年 1月 事前認定
車力、十三、脇元、下前、小泊漁協	平成18年 1月 事前認定
竜飛、三厩、今別町西部、今別町東部漁協	平成18年 1月 事前認定
後潟、青森市漁協	平成18年 1月 事前認定
野辺地町、横浜町漁協	平成18年 1月 事前認定
むつ市、川内町、脇野沢村漁協	平成18年 1月 事前認定
石持、野牛、岩屋、尻屋、尻労、猿ヶ森漁協	平成18年 1月 事前認定
泊、六ヶ所村海水漁協	平成18年 2月 事前認定
認定漁協（3 漁協）	事前認定漁協（3 1 漁協）

「漁協監事研修会」開催

去る二月十日、(社)青森県漁協経営安定対策協会並びに青森県漁連主催により、漁協監事を対象とした「漁協監事研修会」が約百二十名の出席のもと、青森県水産ビルにおいて開催された。研修会は、「漁協監事としての役割と職責を自覚するとともに、漁協経営に関する基礎知識の修得を図ることに、資質の向上と漁協の健全な発展に資する」ことが目的である。

冒頭、主催者を代表し県漁連・久保澤専務理事（経対協理事）が「漁業問題が山積し、漁業経営は極めて厳しい状況にある中、本研修会を通じ監事としての役割と責任の明確化、監査実務の向上、また行政等の検査の指摘内容をそれぞれ自覚・認識し、今後の漁協

経営に反映して頂きたい。」と挨拶を述べた。

研修会では、全漁連の落合常任監事より漁協監事としての役割と責任について、また県団体経営改善課の石川総括主幹からは県常例検査で指摘される内容についてそれぞれ講義がなされた。

（研修内容）

①本県における平成十六年度検査結果の概要

【講師】 青森県団体経営改善課

総括主幹 石川 順一 氏

②監事の権限と責任及び監事の監査実務

【講師】 全国漁業協同組合連合会

常任監事 落合 昭男 氏



講演する落合常任監事



講演する石川総括主幹

平成17年度漁船海難防止地区大会開催 (上北・三八地区)

去る平成十八年三月二十四日

(金) 泊漁業協同組合三階大會議室において、来賓・関係者ご臨席のもと、六ヶ所村から八戸市までの十一漁協の参加者、総勢百名の出席により、平成十七年度漁船海難防止地区大会(上北・三八地区)が開催された。

大会では、青森県漁船海難防止・水難救済会植村正治会長(熊谷拓治副会長代読)が主催者の挨拶を述べた後、村川靖雄八戸海上保安部長、一戸洋次県農林水産部長(奈良岡修一農林水産振興企画監代読)、六ヶ所村古川健治村長(戸田衛助役代読)のご祝辞に続き、「海難事故事例及び救命衣常時着用について」と題して、八戸海上保安部警備救難課山口救難係長が講演を行った。

続いて、当協会の事業となっている救命衣着用推進モデル地区の指定式が行われ、平成十七年度のモデル地区二ヶ所に対し、熊谷副会長より指定証が手渡さ

れた。

指定地区は次のとおり。

「猿ヶ森漁業協同組合、泊漁業協同組合船頭会、百石町漁業協同組合小型船舶部会」

続いて、海上保安庁の自己救命策確保啓発活動の一環として、ライフジャケット着用モデル漁協の指定書が八戸海上保安部村川部長より泊漁業協同組合赤石憲二組合長に交付された。



ライフジャケット着用モデル漁協指定書交付

竹林雅史組合長より、救命衣着用宣言が読み上げられ、救命衣常時着用推進を誓った。

次に、県内十三番目の救難所として、泊漁業協同組合に青森県漁船海難防止・水難救済会泊救難所の設置が承認されたことにより、その開所式が行われた。

開所式では、熊谷副会長より青森県漁船海難防止・水難救済会泊救難所赤石所長に対し、承認証と救急セットが手渡され、



救命衣着用宣言

これを受けて、赤石所長が救難所開設にあたっての決意表明を読み上げし、今後の救助活動に対する心構えと活躍を誓った。

最後に、救命衣着用に対する意識の高揚と啓発普及を図るという本大会の開催趣旨に基づき、青森県漁船海難防止・水難救済会佐藤理事より大会決議が読み上げられ、参加者は救命衣の常時着用推進と漁船海難事故の根絶へ向け、気持ちを新たにしました。



泊救難所開所式

浜の情報・話題

◆◆青森県漁業信用基金協会◆◆

**沿岸漁業地域の活性化と沿岸漁業者の幅広いニーズに応えた新たな資金
担保・保証人は全く不要 基金協会が保証します！！**

用 途	資 金	貸 付 限 度	期 間	保 証 料	審 査
生 活 (自動車・生活関連全般)	小 口 目 的 資 金	3,000千円	5年以内	0.65%	スコアリング シートによる 一括審査
事 業 設 備 (機器・資材購入)	沿岸漁業推進資金	3,000千円 未 満		0.52%	
事 業 運 転 (出漁・小修理)	沿岸漁業運営資金	2,000千円	1年以内		
購 買 未 収 金 整 理 (購買未収金の資金化)	系統購買再生資金	3,000千円 未 満	5年以内	0.39～ 0.69%	
当座貸越による事業資金 (機器・資材購入)	極度貸付根保証資金	2,000千円 以 内 (極度額方式)	5年以内 (弁済は随時)	0.69%	その都度の審 査はなく、極度 の範囲内で随 時利用可

(お問い合わせ先：青森県漁業信用基金協会 TEL 017-723-2714)

◆◆社団法人 青森県漁港漁場協会◆◆

漁港の種類は、漁船の利用範囲によって漁港漁場整備法第5条及び第19条の3に基づき、
次のように分類されます。

(県内漁港数) (全国漁港数)

第1種漁港	その利用範囲が地元の漁業を主とするもの (大間越漁港、車力漁港、清水川漁港、種差漁港 等)	74港	2,214港
第2種漁港	その利用範囲が第1種漁港より広く、第3種 漁港に属しないもの (下風呂漁港、脇野沢漁港、三厩漁港、北金ヶ沢漁港)	11港	495港
第3種漁港	その利用範囲が全国的なもの (三沢漁港、大畑漁港、鯉ヶ沢漁港)	3港	101港
第4種漁港	離島その他辺地にあって漁場の開発又は 漁船の避難上特に必要なもの (小泊漁港、佐井漁港、白糠漁港)	3港	101港
特定第3種漁港	第3種漁港のうち水産業の振興上特に重要 な漁港で政令で定めるものをいう (八戸漁港)	1港	13港

計 92港 2,924港

(お問い合わせ先：社団法人青森県漁港漁場協会 TEL 017-777-4055)

浜の情報・話題

おかげさまで大好評！ JF 共済チョコー

昨年6月に新しく誕生したJF共済チョコーがおかげさまで大好評！
今年度も“GO! GO! JF共済”をキャッチフレーズに、多くの方にJF共済をご利用いただけるよう、JFとともにJF共水連青森は頑張ります！

チョコーであんしん、ガッチリガード

- ★日帰り入院より保障、5日未満の入院には5日分の入院給付
- ★ケガによる通院は5日以上で共済金をお支払い
- ★所定のギプス固定期間を通院とみなします
- ★生活習慣病での入院や手術も保障(特定疾病入院特約付帯の場合)

詳しくはお近くのJFへお問い合わせください。



見直しませんか？わが家の保障

ご存知ですか？火災共済(保険)は火事などで損害があったとき、建物でも家財でも本来、その価値の満額の加入をしなければ実際の損害額分をお支払いすることができません。
さっそく確認してみてもいいかもしれません？

建物の価値	建物の面積(坪) 坪	×	坪単価 ※ 万円	=	建物の価値 万円	※市は坪単価約50万円 町村は坪単価約40万円
家財の価値 (下表を参考)	世帯主の年齢 万円	+	大人×人数分 万円	+	小人×人数分 万円	= 家財の価値 万円

漁家標準世帯の家財の時価評価額

世帯主の年齢	夫婦のみ (時価)	家族1人当たり (時価)
～27歳	490万円	
28～32歳	590万円	大人 120万円
33～37歳	790万円	小人 70万円
38～42歳	950万円	
43～47歳	1,080万円	独身世帯 280万円
48歳～	1,140万円	

不足分はJF共済の生活総合共済で
ガッチリガード



JF JF共水連青森

(お問い合わせ先：TEL 017-722-7771)

県内漁協組合長改選報告

(平成18年4月末現在)

漁 協 名	新組合長名	旧組合長名
赤石水産	石 岡 清 美	今 忠 夫
蓬 田 村	越 田 長四郎	張 間 勇 三
野 辺 地 町	五十嵐 實	久保田 秀 雄
川 内 町	船 橋 元 吉	田 中 鐵 男
大 間	浜 端 廣 文	泉 一 郎
易 国 間	嘉 賀 信 男	金田一 源五郎
八戸市南浜	石 井 作 美	深 川 末 男
階 上	中 田 一二三	大 下 義 雄

青森県漁連職員新人紹介



藤 田 泰 輝

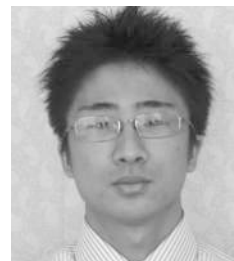
趣味…体を動かす事

県漁連に入会し、まだまだ、皆様のお役に立てる様な力はありませんが、やる気は誰にも負けないつもりです。これから一步步ずつ前進し、皆様と共に青森の漁業の発展の為に力を尽くしていきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

一 戸 佑 輔

趣味…つり

県漁連に入会してから1ヶ月近く立ちました。職場の雰囲気には除々に慣れることができましたが、仕事のことでは知識も経験もなく、わからない事ばかりです。仕事にも早く慣れることができるよう頑張っていくので、宜しくお願いいたします。



工 藤 健 一

趣味…車の解体・修理

一昨年度より県漁連に勤務し、今年度から職員として採用して頂きました。これからも今まで以上に頑張っていくしますので、宜しくお願いいたします。

青森県漁連 人事異動

1. 昇進・異動（平成18年4月1日付）

	新 任	氏 名	前 任
総務部	次長 経営改善室室長・経理債権管理課課長兼務	梅田 春栄	総務部次長 総務課課長・経営改善室室長・経理債権管理課課長兼務
	総務課課長	木村 秀樹	総務部総務課課長代理
	総務課主任・経営改善室主任兼務	濱田 淳悦	指導部指導課主任
	経理・債権管理課	斎藤 春男	総務部総務課 経営改善室兼務
指導部	次長	蛭名 正充	指導部指導課課長
	指導課課長	熊木 正徳	指導部指導課課長代理
	指導課	上坂 幸雄	業務部販売課課長代理
	指導課	山田 佳子	指導部付（社）青森県水産振興会・青森県漁業環境保全振興協会・青森県小型いか釣漁業協議会・青森県魚市場協会・共販所担当
	指導課（社）青森県漁協経営安定対策協会・青森県漁協合併推進本部兼務	八桁 里津	業務部はたて課
	指導部付（社）青森県水産振興会・青森県漁業環境保全振興協会・青森県小型いか釣漁業協議会・青森県魚市場協会・共販所担当	久保園砂綾	総務部経理・債権管理課
業務部	部長	三津谷武志	業務部次長 はたて課課長兼務
	次長 販売課課長兼務	荒内 裕治	業務部販売課課長
	はたて課課長	田中 和芳	業務部はたて課課長代理
	販売課課長代理	神 優裕	業務部販売課係長
	販売課係長	兼平 欣一	事業部流通課係長
	販売課（現地駐在：大畑・関根浜）	笹原 秀行	業務部販売課（現地駐在：鰺ヶ沢）
	販売課（現地駐在：鰺ヶ沢）	佐藤 一志	業務部販売課（現地駐在：大間）
	販売課（現地駐在：大間）	櫻田 栄喜	業務部販売課（現地駐在：尻労）
	販売課（現地駐在：尻労）	藤井 正幸	業務部販売課
	はたて課	阿部 英保	業務部販売課（現地駐在：大畑・関根浜）
事業部	製氷冷凍加工工場課係長	倉本 嘉久	事業部製氷冷凍加工工場課主任
	平内加工場主任	飯田 久彦	事業部平内加工場
	流通課主任（青森県はたて流通振興協会・はたて広場出向）	蛸崎 環	事業部流通課（青森県はたて流通振興協会・はたて広場出向）
	製氷冷凍加工工場課	倉本 和人	事業部平内加工場
	流通課	細川 美仁	事業部製氷冷凍加工工場課

2. 採用（平成18年4月1日付）

（1）職 員

	新 任	氏 名	摘 要
指導部	指導課課長代理	葛西 篤	青森県漁業信用基金協会より出向
業務部	販売課	藤田 泰輝	新規採用
	販売課	一戸 佑輔	新規採用
事業部	製氷冷凍加工工場課	工藤 健一	新規採用

（2）臨時職員

	新 任	氏 名	摘 要
事業部	平内加工場	逢坂 修二	新規採用
	流通課	加藤 美香	新規採用

（3）退職（平成18年3月31日付）

	新 任	氏 名	摘 要
指導部	指導課課長代理	小田桐博司	青森県漁業信用基金協会へ復職
	指導課	川崎 江梨	願いにより
	指導課（臨時職員）	長岐文祐子	雇用契約期間満了により
事業部	流通課	加藤 美香	願いにより
	流通課（臨時職員）	木村 葉月	雇用契約期間満了により

水産に関する主な動き（1月～3月）

1月	事 項	場 所
6日（金）	本会仕事始め	
6日（金）	ほたて生産・販売関係者新春祝賀会	青森市
6日（金）	三沢市・百石町漁協合併推進会議	三沢市
12日（木）	「第17回青森県水産賞」表彰式	青森市
12日（木）～13日（金）	青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会、技術検討会	青森市
13日（金）	青森県水産業改良普及会通常総会	青森市
14日（土）	外ヶ浜漁協 設立祝賀会	外ヶ浜町
16日（月）	ほたて関係組合全体協議会	青森市
16日（月）～18日（水）	佐井村漁協監査	佐井村
17日（火）	漁船海難防止講習会	六ヶ所村
17日（火）	大型クラゲ被害金融対策担当者会議	青森市
19日（木）	第1回大型クラゲ対策全国協議会	東京都
20日（金）	JF改革新運動方針の推進に係る経済事業改革推進研修会議	東京都
25日（水）～26日（木）	噴火湾ホタテガイ状況調査	函館市
31日（火）	むつ湾漁業青色申告会連合会税務担当者研修会	青森市
2月	事 項	場 所
3日（金）	密漁防止全国連絡会議	東京都
7日（火）	海面養殖高度化事業地域座談会	むつ市
10日（金）	青森県漁協監事研修会	青森市
14日（火）	日本海地区漁業者協議会	鰺ヶ沢町
14日（火）	鰺ヶ沢・深浦地区漁協合併推進協議会	鰺ヶ沢町
14日（火）	海面養殖高度化事業地域座談会	平内町
16日（木）	階上漁協合併推進説明会	階上町
16日（木）	むつ湾地区漁業者協議会	青森市
17日（金）	太平洋地区漁業者協議会	むつ市
22日（水）	資源回復計画作成及び回復制度普及啓発講習会	東京都
24日（金）	青森県定置漁業協会通常総会	青森市
27日（月）	経営体質強化緊急総合対策事業全国説明会	東京都
27日（月）	漁業の省エネルギー関連事業に関する説明会	宮城県
3月	事 項	場 所
1日（水）	ほたて関係全体協議会	青森市
3日（金）	ほたて販売担当者会議	青森市
8日（水）	東通地区購買担当者会議	青森市
8日（水）～9日（木）	第11回全国青年・女性漁業者交流大会	東京都
13日（月）	海面養殖高度化事業地域座談会	外ヶ浜町
14日（火）	青森県大型クラゲ漁業被害防止対策連絡検討会	青森市
16日（木）	ホタテガイ天然採苗予報調査に関する協議会	青森市
16日（木）	ほたて関係全体協議会	青森市
20日（月）	JFグループ新運動方針の実践に向けた全国会議	東京都
20日（月）	野辺地町・横浜町漁協合併研究会	野辺地町
23日（木）	海面養殖高度化事業地域推進協議会	青森市
24日（金）	日本海北部漁協合併研究会	中泊町
24日（金）	漁船海難防止地区大会	六ヶ所村
25日（土）	野牛漁協合併推進説明会	東通村
29日（水）	青森県漁業者協議会	青森市
31日（金）	加工業者とのホタテガイ販売懇談会	青森市

県内漁協職員紹介

青森市漁協

青森市は県庁所在地で、2005年4月には旧浪岡町と合併し、総面積約824平方キロメートル、人口約31万6000人となり、夏には全国からねぶた観光客で賑わいます。また、あと数年で新幹線が開通予定であり、その便乗効果も期待されています。それでは、むつ湾の最深部に位置する「青森市漁協」をご紹介します。



1. 川村 信一
2. 業務課長
3. 特になし
4. 退職まで健康に気をつけて頑張ります。



1. 竹谷 孝
2. 総務課長
3. ガーデニング
4. 気持ち常に30歳、子供28歳と23歳



1. 鶴谷久江
2. 総務課係長
3. ボーリング、山菜取り
4. 何事にもチャレンジ旺盛、持ち前の元気で明るさで頑張っています。



1. 東山 賢一
2. 総務課総務係
3. 天体観測
4. 常に全力投球で頑張ります。



1. 小嶋 亮太
2. 業務課業務係
3. モーター・スポーツ
4. 安全運転で頑張ります。



1. 前田 文明
2. 久栗坂支所長
3. 盆栽
4. 妻子に見放され現在、家の窓際族。



1. 奥崎 潤
2. 久栗坂支所 業務係
3. マイカーの装飾
4. 子供のミルク代稼がなくては。



1. 唐牛従道
2. 野内支所長
3. ジェット・スキー スノーボード
4. 貴方のために家を買ってしまいました。一緒にローン地獄を味わいませんか？



1. 吉本一美
2. 原別支所長
3. ショッピング
4. 毎日元気に仕事を頑張っていきたいと思っています。



1. 藤原らん子
2. 油川支所長
3. スポーツ全般
4. 老体にムチ打ちながら、週4回スポーツをしています。



1. 佐藤 勝幸
2. 油川支所 業務係
3. 音楽鑑賞 (クラシック以外)
4. 体力増進に励みます。



1. 佐藤 亜明
2. 奥内支所長
3. 穴場温泉めぐり
4. 疲れた～。



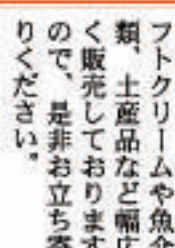
1. 福浦 祐介
2. 奥内支所 業務係
3. 麻雀 (相手はパソコン)
4. 肉体労働ならお任せ。



1. 高坂 早希子
2. 奥内支所 総務係
3. おいしい物をあなかいっぱい食べること。
4. くるまをかしてくれたらオリジナルカーで返却します。



1. 鴨海 瑞穂
2. 総務課 経理係
3. 読書 (おずかしくないもの)、身体を動かすこと
4. アウトドア大好き!! です。



1. 白川 佑生
2. 業務課 業務係
3. ビデオ鑑賞 (SF、アクションもの)
4. 4月入社したばかりなので早く仕事を覚えるように頑張ります。

1. 氏名 2. 担当業務 3. 趣味・特技 4. 自己PR

平成18年5月30日発行
 青森県漁業協同組合連合会
 青森市安方一丁目1番地32号 TEL 017-722-4211内
 〇印 監印
 不二印刷工業株式会社 TEL 017-741-5439

編集後記

今回、表紙に掲載した「ほたる」は、早稲穂の収穫から1年が経過しました。ホタルのフタクリムや魚介類、土産品など幅広く販売しております。是非お立ち寄りください。